

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	森の図書館E S C O事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	森の図書館利用者（市外も含む）	意図	満足のいく図書館サービスを受けられるようにする。
事業内容	平成7年度竣工の森の図書館は、空調設備、照明設備の劣化が進んでいたことから、更新をE S C O事業により行い空調、照明の所有権を民間事業者に移転した。これによって、指定管理者が運営に専念できる環境を整え環境負荷の低減・更新コストや光熱水費の削減・市民サービスの向上が図られた。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始は、平成28年度からであり、1年目・2年目と同様に光熱達水費の削減保証額に達成しなかったが、環境負荷の低減・光熱水費の削減に大きく寄与した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	削減検証額	2,088,828	1,881,287	2,043,465	円	↑↑↑	
②	年間光熱水費	2,882,593	3,048,149	3,069,033	円	↓↓↓		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	事務事業の総コスト(a=b+c)			
事業費(b)(円)		6,089,934	5,865,789	5,914,002	事業費(b)(円)			
うち一般財源		6,089,934	5,865,789	5,914,002	職員給与と費(c)(円)			
職員給与と費(c)(円)		3,600,350	3,523,850	562,860	人役・職員(人)			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.08	人役・再任用(人)			
人役・再任用(人)					人役・臨職(人)			
人役・臨職(人)		0.15	0.15	0.02	人役・嘱託(人)			
人役・嘱託(人)					初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）					想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）					平成27年度にE S C O事業により工事を実施し、平成28年度からサービスが開始されたところである。 削減保証額2,161,000円に対し、削減検証額2,043,465円となり、117,535円を事業者が負担することとなった。			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	E S C O事業3年目に当たる平成30年度についても削減保証額に達成しなかったことから、空調設備、照明設備の更新コストの軽減に努める。	③取組における課題(Check)	空調設備、照明設備の季節に応じたきめ細やかな運用が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	空調設備、照明設備の所有権を民間事業者に移転したことにより、指定管理者の維持管理業務が減り事業等の運営に専念できることとなった。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	E S C O事業により空調設備、照明設備の更新コストを軽減するとともに、今後も+光熱水費の削減を目指す。契約補償額未達成の原因を分析し、運用に活かしたい。